

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
599		合併処理浄化槽設置及び管理事業	01		一般会計
			04		衛生費
22		全市的に生活排水処理施設を整備する	01		保健衛生費
			04		環境対策費
		伊賀支所産業建設課下水道室	104		浄化槽設置及び管理事業
		北川幹洋	連絡先	45-9109	合併処理浄化槽設置及び管理事業
			細目	01	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	公共下水道事業及び農業集落排水事業の事業認可区域、大型合併処理浄化槽を利用して共同処理される住宅団地の区域以外等の区域において、BOD除去率が90パーセント以上、放流水のBODが20mg/l(日間平均値)以下、処理対象人員が10人以下などの補助基準に適合する合併処理浄化槽を設置する方	基準に適合する合併処理浄化槽の整備を促進することにより、河川等の公共用水域の水質保全を図る。また、対象区域住民が健康で快適な生活を営める。
本年度事業内容	1. 対象区域 伊賀市内の次の区域を除く区域 ①公共下水道事業及び農業集落排水事業の事業認可区域、②大型合併処理浄化槽を利用して共同処理される住宅団地等の区域、③浄化槽市町村整備推進事業における対象区域 2. 補助内容 国・県・市が1/3づつ補助金を拠出し、予算の範囲内において、設置者に設置費用の一部を補助する。 3. 予算措置 6~7人槽 2基(411,000円×2基) 4. 補助方法 補助金の交付を受けようとする者は、あらかじめ補助金交付申請書を市長に提出し、補助金交付決定通知書を受けなければならない。事業完了後は、実績報告書を市長に提出し、現地確認を受ける。補助金交付額確定通知書による通知を受けた場合において、補助金交付請求書により補助金を請求する。	
開始年度	平成 4 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等 伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,200	822	822
委託料			
補助金	1,200	822	822
その他			
合計(A+B)	1,920	1,542	1,542
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	510	548	548
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,410	994	994
上記①~③に関する特記事項			
予算上は、人件費の計上無し			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
対象者数	人	2	2	2			
補助金額	千円	1,200	822	822			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者設置比率 (設置数/対象区域設置数)	補助要綱の対象区域設置数を分母として、補助対象者の設置数を分子とする対象者の比率を指数とした。	%	100 目標 ( )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀支所管内は、当該事業を平成4年から公共下水道並びに農業集落排水の整備と平行して実施している。市町村合併以降、平成17年と18年度の2段階において、公平性の原則から補助金を見直しを行い、最終的に市内一律に改正した。近年、高齢化世帯、少人数世帯が増加の傾向にあり、申請数の減少や、適正な維持管理がなされていない浄化槽が増加しているため、将来は、浄化槽の設置促進のみならず、維持管理についても、市町村管理型への移行が必要である。また、そうすることにより公共下水道や農業集落排水と整合を図ることができる。

評価	必要性	4	合併処理浄化槽は公共下水道と同等の汚水処理能力を有しており、生活排水処理施設の一つに位置づけられている。今後においても、集合処理区域外の生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため、引き続き実施する考えである。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A